

(公社) 大分県建築士会 ひた支部会報

発行：公益社団法人 大分県建築士会 日田支部
企画編集：広報部
文責：広報部長 秋 和夫

第10号 (平成29年07月28日発行)



建築士の日 住宅無料相談会の報告
(公社)大分県建築士会日田支部
広報部長 秋 和夫

■ 研修会の報告 ■■■

平成29年度日田支部総会の報告
(公社)大分県建築士会日田支部広報部長 秋 和夫

平成29年05月27日午後4時30分より、平成29年度(公社)大分県建築士会日田支部通常総会が開催されました。野村副支部長による成立宣言の後、鈴木孝幸支部長の挨拶が行われました。



(挨拶をする鈴木支部長)

議長には羽野福美氏が選出され、総会審議については、第1号議案から第3号議案までの全てが原案どおり可決されました。

議事

第1号議案

平成28年度事業報告及び収支決算承認の件
会計監査報告

第2号議案

平成29年度事業計画案及び収支予算案の件

第3号議案

その他



(羽野福美議長による議案審議)



(総会会場の様子)

総会終了後には、(株)九州木材市場代表取締役 田中昇吾氏による「日田の木材業界の現状と未来」と題した講演が行われました。



(講演をする田中昇吾社長)

日田林業の歴史は、今から約500年前に始まり、戦後の復興と高度経済成長に伴い、木材産業が発展してきました。日田市の面積の83%が森林で、その殆どが杉桧で占めています。昔は、急斜面を馬で引っ張り、ワイヤーで吊るして山から山へ移動させていましたが、今は、林道を整備して、トラックを利用するのが主流です。伐採作業を重機等の利用により、若い伐り出し業者も増えてきました。

「植えて、育てて、伐って、活用する」のが林業のサイクルです。日田では、昔から挿し木苗を使った植林を行っています。挿し木の品種改良も古くから行われてきましたが、一般的に住宅用の木材に育つまでには、50年ほどの月日がかかります。自然の山のなかでは、植えたばかりの小さな苗木のまわりに雑草などが生い茂ります。苗木に日が当たらなくなるなり、うまく育たなくなるので下草刈りやつる切りを毎年行いますが、蜂やマムシなどが出るので大変です。林業では、手間のかかる植林や下草刈りの担い手不足が深刻な問題です。

引き続き、講演者の田中昇吾氏と、賛助会員を含めた26名で懇親会が、開催されました。賛助会員の河津富生氏による乾杯で始まり、今後の地域振興策で、熱い議論を交わしながら、親交を深めました。



(賛助会員との懇親会の様子)

九州木材市場の田中昇吾社長のお話の中で、年間取扱量が平成26年から38,000m³(伸び率133%)に増えています。これ以前の上木のみでの買取りから、山林ごとの買取りに移行した事によるものですが、売主側の主観の変化が原因だそうです。平成28年1月29日に発足した日田市に拠点を構え、森林・林業・木材産業の活性化及び地域振興を図る応援活動を目的とした団体の「日田林家(ひたりんか)」も紹介して頂きました。

日田市役所1階ホールにおいて、大分県建築士会日田支部の主催で、住宅無料相談会が開催されました。

7月1日は建築士の日に設定されておりますが、今年は1日が土曜日だったため、3日(月曜日)に実施となりました。住宅無料相談会は、(公社)大分県建築士会日田支部会員と日田市役所建築住宅課職員の10数名で対応しました。



(相談会場の様子)

昨年は4月14日と16日に熊本地震(震度7)が発生し、数十名の相談と事前の問い合わせも20数件あり、耐震改修の補助金制度や調査費用の相談が多くありました。今年は来場者も5名ほどで、耐震相談の問い合わせはありませんでしたが、セメント瓦からの漏水に対する対処の方法や古い建物の基礎を残してリフォームするか新築の方が良いか等の相談を受けました。それぞれの案件に、相談の内容に詳しいメンバーが丁寧に対応させて頂きました。

《あとがき》

支部会報は、公益社団法人大分県建築士会ホームページの中で、支部紹介の日田支部ページにも掲載されています。

日田支部ページには、連絡事項やこれまでの活動報告など、情報が満載ですので、ぜひ、見て下さいね。(広報部長 秋より)

※日田支部のHPはこちら

<http://www.oita-shikai.or.jp/shibu/hita/>